

平成25年度 茨城県立海洋高等学校自己評価表

目指す学校像	教育基本法及び本県教育の目標の示すところにより、豊かな人間性と人格の完成を目指し、社会の発展に貢献し得る、心身ともに健全な海洋技術者を育成する。					
昨年度の成果と課題		重点項目	重点目標	達成状況		
<p>学習指導は、生徒の自己教育力の育成と体験学習を重視し学習意欲の向上を図る。学力に関しては、その意欲を育て、きめ細かな個別指導を行い、その向上を図る。</p> <p>特別活動は、生徒が自主的に活動するような校内環境（行事等）を推進する。また、部・同好会活動の活性化を目指し、生徒が生き生きとした学校生活を送れるようにする。</p> <p>生徒指導は、問題行動を起こす生徒・退学者を減らすため基本的生活習慣の育成に努める。予防的な生徒指導を推進することで規範意識を向上させる。</p> <p>進路指導は、多くの生徒が自ら希望する進路を選択できるよう、その情報を提供する。全生徒が主体的に進路選択を図れるようにする。</p> <p>全校的課題としては、地域における本校教育内容の理解や認知をより一層広げる必要がある。</p>		人間力を育成する学校をめざす。	①基本的な生活習慣育成に努め、きめ細かな学習指導や進路指導の実施を推進し、原級留置者や退学者を減少させるとともに、生徒の幅広い進路選択を可能にする。	A		
		予防的な生徒指導を実現する。	②道徳教育活動を推進し、ボランティア活動やHR単位での活動を通して明るく節度ある生活態度を身に付けさせる。また校内巡視などによる積極的な声かけ活動を実施することにより、特別指導件数を減少させる。	A		
		地域との連携を図り、海洋教育の大切さを積極的にPRする。	③本校の特色を活かした企業実習を実施し、近隣小中学校との連携や水産試験場・県水族館アクアワールド大洗との連携、県内各漁業関係者との連携など、地域との連携及びキャリア教育を積極的に進める。	A		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題		
教科指導	個々の生徒の実態に応じた授業展開と、きめ細かな個別指導を行い教科指導を実施する。	評価規準に基づく生徒の実態に沿った評価の実践 学力向上を図るための個別指導方法の研究や実践 進路に応じた課外学習の実施	① A ① B ①③ A	A A A	・基礎学力向上を図るための具体的方策の計画 ・体験的学習の改善	
教科	国語	生徒の実態に応じて授業を展開し、基礎学力の向上を図り、将来に生きる能力を育成できるよう指導する	副教材に漢字テキストを用い、読み書きの能力を育成する 作文やスピーチの指導により、伝え合う力を高める 様々な文章を読み、論理的思考や想像力を高める 進路を意識した総合的な国語力を養う	① A ① B ① B ① B	B	・思考力・判断力・表現力を育むため、話し合いや発表などの言語活動を取り入れた授業改善を図る。
	地理歴史	個々の生徒の実態に応じた授業をしながら郷土に対する理解を深め郷土を尊重する態度を養う	ITを取り入れきめ細かい指導の実施 個々の生徒の実態に応じた授業をしながら社会人として必要な資質を養う 生徒の発言する機会や考えさせる機会を多くし生徒の持つ能力を総合的に引出す	① A ① A ① B	A	・主体的に取り組む内容等を増やし、活動させる。
	公民	個々の生徒の実態に応じた授業をしながら社会人として必要な資質を養う	時事的な内容を多く取り入れ進路を意識させる 個別指導方法の研究や実践により理解の定着を図る 生徒の発言する機会や考えさせる機会を多くし生徒の持つ能力を総合的に引出す	① A ① A ① B	A	・主体的に取り組む内容等を増やし、活動させる。
	数学	生徒の基礎学力の向上を図る 生徒全員に達成感を与える授業を展開する	基礎計算能力を高める 小テストを行い分析する 「何が必要か」を正確に把握し目標を設定する 教材の選定をこれまで以上に検討を重ねる	① A ① B ① A ① B	B	・基礎学力向上のために、四則演算を繰り返して基礎計算能力を高める。
	理科	生徒の学力に応じた授業内容を考える	小テストなどを導入し、生徒の理解度を確認しながら授業を進める 生徒がわかる授業の工夫をし、生徒に成就感を持たせるようにする	① B ① B	B	・能力に差がある生徒達に合った分かる授業の工夫をする。

教	保健体育	運動の楽しさや喜びを味わせ、生涯を通じて継続的に運動できる資質や能力を育てる	生涯スポーツの獲得を意識した選択種目を設定して生徒のニーズに応える	①	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動を通して、基本的な生活習慣を確立させる。 ・体力向上に向けての補助トレーニングの実施 ・安全面に考慮した授業展開
		各種目のルールや特性を活かした中で公正・協力・責任などの態度を育てる	能力別・チーム力均等、グループ編成を工夫し、楽しく活動できるようにする	①	B		
科	芸術	生涯を通じた書道の楽しさや奥深さを知ってもらう	個々の生徒の実態に応じた書道を毛筆にて指導する	①	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・製作意欲の向上 ・教材の開発
		生徒の実態に応じた授業の展開と、個人レベルまで学習をサポートする教科指導を進める	丁寧な筆字を目指したペン習字をきめ細やかに指導する	①	B		
教	外国語	生徒の実態に応じた授業の展開と、個人レベルまで学習をサポートする教科指導を進める	生徒の習熟度を鑑み、定期テスト対策や進路など、生徒のニーズに合わせた個別指導（1：添削指導 2：チューター指導）を実施していく	①	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに多くの英語による発話の機会を与えていく。 ・英語で自分の意見を言えるよう指導する。
		言語活動・実習を取り入れた生徒の実態に応じた授業展開	生徒の習熟度に合わせた授業を展開するために、生徒の習熟度と3年間の教育課程を見越して独自のワーク教材を系統立てて作成する	①	B		
科	家庭	言語活動・実習を取り入れた生徒の実態に応じた授業展開	実践的コミュニケーション能力の育成を目指し、適宜にクラスルーム・イングリッシュを活用した授業を実践していく	①	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を通し、個別指導の充実を図る。
		生徒の興味関心を喚起する専門教育を実施する	家庭や地域の生活に関心を持たせ、意欲的に発表・発言をさせる	①	A		
科	水産	生徒の安全と事故の無い実験・実習を実施する	家庭や地域の生活に関心を持たせ、意欲的に発表・発言をさせる	①	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴ある実験・実習の更なる展開を行い、担い手としての人材育成に向けて生徒の職業観を育てる。
		生徒の適性と将来性を目指した専門教育を実施する	実習を通じて、基礎的・基本的な技術を身につけさせると同時に、衣・食・住について生きるうえで必要な知識を身につけさせる	①	A		
教	務	学力向上を図るための具体的指導計画の立案と実施	実験・実習等体験的学習を実施するとともに、適切な教材を通して学習意欲を喚起する	①	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内組織の円滑な進行 ・シラバス作成の推進 ・生徒募集への取組 ・授業の充実 ・観点別評価の研究 ・授業時間の確保
		自己教育力育成のための基礎づくりを目指す教育の推進	実験・実習については計画的・系統的な実施計画をたて、個々の生徒に応じたきめ細かい指導を実施する	①	B		
特別活動	生徒会活動の自主的な運営	学力向上を図るための具体的指導計画の立案と実施	専門教育に関わる資格取得を奨励・推進し、生徒の適性と将来性に通じた専門的かつ総合的な学習指導を地域との連携を通して実施する	③	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内組織の円滑な進行 ・シラバス作成の推進 ・生徒募集への取組 ・授業の充実 ・観点別評価の研究 ・授業時間の確保
		自己教育力育成のための基礎づくりを目指す教育の推進	「課題研究」における課題解決型学習の実施	①	A		
特別活動	部活動の振興	生徒会活動の自主的な運営	体験学習及び企業実習等の効果的な計画・実施	①③	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会のボランティア活動の活性化 ・部活動の更なる充実
		部活動の振興	生徒による学校行事の主な企画、運営	②	B		
特別活動	部活動の振興	生徒による校外活動	生徒による校外活動	①	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会のボランティア活動の活性化 ・部活動の更なる充実
		部活動の活動率の向上	部活動の活動率の向上	①	A		
特別活動	部活動の振興	部活動の指導者の育成及び講習会への参加	部活動の指導者の育成及び講習会への参加	①	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会のボランティア活動の活性化 ・部活動の更なる充実

生徒指導	基本的な生活習慣の確立	挨拶・言葉遣いの指導	①②	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・継続指導の徹底を図る。 ・全教職員の共通理解を図り、学校としての協力体制・指導体制を築く。
		欠席・遅刻・早退の減少	①	B		
		交通・乗車マナーアップ指導	①	A		
		服装・頭髪の定期的指導	①	A		
		喫煙防止・薬物乱用防止意識の高揚	②	B		
	充実した学校生活への取り組み	規範意識の向上	①②	A		
		全校・学年集会の充実	①②	A		
		問題行動をさせない事前の指導	①②	A		
		問題行動の早期発見・早期対応・早期解決	①②	A		
		学校生活の意義・目的意識の定着	②	A		
道徳教育の推進	研修会の充実	①②	B			
進路指導	主体的な進路選択の育成	進路適性検査及び進路ガイダンスの実施	①	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・管内求人企業の新規開拓を進めるとともに、各教科と協力し就職試験に向けた指導の充実を図る。 ・進学面では、計画的で組織的な指導体制の早期確立と指導内容の充実を図る。
		地元協力企業による生徒企業実習の実施	③	A		
	進路相談の充実	管内求人企業の新規開拓及び情報提供（ハローワークとの連携）	③	B		
		進路未決定者を出さないための進路相談の充実	②	B		
	進学指導の充実	相談及び指導体制の充実	①	A		
渉外	P T A活動の活性化	適性に応じた進学指導の徹底	②	A		
		入試情報の提供などのきめ細かな指導	①	B		
各種委員会の自覚を促すとともに各種委員会の活性化	広報紙及び学校通信による保護者、地域住民への広報活動	③	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会活動への参加数増加 	
		③	A			
図書	蔵書の整理	蔵書のデータベース入力	①	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・教員ともに閲覧・活用しやすいよう工夫していきたい。
		内容が古くなった図書の選別及び廃棄作業	①	A		
		有効的な購入図書の選定	①	A		
	生徒及び職員への図書室開館	昼休みの開館	①	A		
		放課後、定期試験中の放課後の開館	①	A		
図書委員会の活性化	長期休業中の計画的開館	①	A			
保健衛生	健康に対する意識の向上と保健指導の充実	生徒図書委員への適切な指示、自主性の育成	①	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の推進、特に安全教育の充実を図り、地域関係機関との連携をしながら、学校安全計画の実施を目指す。
		健康診断と効果的な事後指導の実施	①	A		
		各種学校行事における保健管理・指導の徹底	①	B		
		保健だよりを通して、必要な健康情報の提供	①	A		
		学校環境衛生検査の実施	①	A		
	教育相談の体制を確立する	生徒保健委員会の活性化	①	B		
		地域の関係機関・団体との効果的な連携	③	A		
		教育相談の知識・技術の向上	①	A		
		クラス担任との連携	①	A		
		教職員の研修を実施	①	A		

情報	情報機器，ネットワークの維持管理	情報機器の維持管理 ネットワークの管理 メールアドレスの管理	② ② ③	B A A	A	各項目の迅速な処理に努めた い。
第1学年	個に応じた学習指導を充実し， 基礎的な内容を身につけさせる 望ましい集団生活を通じて，心 身の調和のとれた発達と個性の 伸長を図る 家庭との連携を密にする	授業内容の精選を図り，生徒一人一人に即した授業を展開し，基礎学力の習得を目 指す 生徒指導部との連携及びLHRや学年集会を通して基本的生活習慣に対する意識の向 上を図る 1学年全家庭を対象に家庭訪問を実施し家庭との連携を密にする	① ①② ③	B A A	A	・高校生としての意識を早めにつ けさせたい。(校則，マナー，基 本的生活習慣)
第2学年	基本的生活習慣を確立させ，社 会に出るために必要な資質を身 につける 基礎学力の定着を図るとともに 将来の進路を見据えた授業・実 習等を実施する 学校行事等への積極的な参加を 促進する	時間厳守やあいさつの敢行，言葉づかい・頭髪・服装について学年の共通認識のも とに指導を行う 授業を通して国語力や計算力等の基礎学力を身につけさせる 専門教科等を通して将来の進路に必要な知識・技術を身につけさせる 企業実習を通して将来の進路への意欲を向上させる 修学旅行の充実を図るため，年間を通して見学地の地理や歴史，文化等についてよ く理解させる。 参加することの大切さや充実感を理解させ，体育祭やクラスマッチへ積極的に参加 させる	② ① ① ③ ② ②	A A A A B A	A	・基礎学力，諸々の社会的マナー について，次年度は，進路と絡み 合わせて，さらに推進する必要が ある。
第3学年	生徒の進路目標を明確にさせる とともに，目標の実現に向けた 指導の充実を図る。 社会人として必要な生活態度や マナーを身につけさせる。 最上級生としての自覚を持た せ，率先して学校行事や部活動 に参加させる。	進路希望調査や二者面談・三者面談を実施する。また，各部署と協力し，基礎学力 の向上や面接対応能力の向上を目指す。 時間の厳守や挨拶の励行，言葉遣い，頭髪・服装について，社会人となる意識を持 たせながら指導を行う。 特別活動やホームルーム活動を通して，最上級生としての自覚を持たせ，学校行事 等に積極的に参加させる	①③ ① ②	B A A	A	・できるだけ早い時期に進路目標 を明確にさせ，それぞれの進路に あった計画的な学習及び面接等の 指導を実施する。 ・HR活動等を通して，協調性を 高めたり，自分の考えをまとめて 発言したりすることにより，社会 人として必要なコミュニケーション能力の 向上を目指す。

※評価基準 A：十分達成できている

B：達成できている

C：概ね達成できている

D：不十分である

E：できていない